

# 指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

施設所管課

健康保険部 長寿政策課

施設名	大津市立木戸デイサービスセンター		
指定管理者	社会福祉法人 大津市社会福祉事業団		
指定期間	平成30年4月1日～平成35年3月31日		
指定管理料	年額 6,488,000円(平成30年度)	(総額	32,440,000円)
設置目的	老人の福祉の増進を図るため、老人福祉法第20条の2に規定する老人デイサービスセンターを設置する		
業務内容	センターにおいては、介護保険法(平成9年法律第123号)第8条第7項に規定する通所介護、同法第115条の45第1項第1号口に規定する第1号通所事業その他の老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業を行う。		
主な成果 (自主事業含む)	使用料収入 目標 54,919 千円 ⇒ 実績 68,460 千円 稼働率 目標 78.6 % ⇒ 実績 81.4 % 利用者数 目標 7,010人 ⇒ 実績 7,237人 <b>【主な自主事業実施による成果】</b> 地域自治会のサロン等へ出向き、デイサービスで実施している体操を実演・指導することで、地域の方々の健康増進に寄与している		

総合評価	～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	今年度当初の目標数値全てにおいて上回った。特に、稼働率において、以前より80%以上を目標にしていたが、今年度達成することができた。次年度も引き続き、安定的な運営ができるよう努力していく。

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項
I 実施体制	施設の設置目的の達成	事業計画書、事業報告書	B (良好)	事業計画に基づき運営している	B (良好)	事業計画に基づき運営されている。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	B (良好)	事業計画に基づいた職員配置を行なっており、職員の労働条件等においても適正に実施している	B (良好)	事業計画に基づいた職員配置を行なっており、職員の労働条件等においても適正に実施されている。
	職員の研修	事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	介護技術研修、施設交流研修、合同研究発表会等を実施した	B (良好)	職員の介護技術向上に向けた研修など、意識向上に向けた研修が行われている。
	法令等遵守	仕様書、関係書類等、実地調査	B (良好)	法令・条例を遵守している	B (良好)	法令・条例を遵守している
	個人情報保護・情報公開	協定書、管理办法(実地調査)	B (良好)	個人情報の取扱いについては、協定書に基づき適切に行なっている	B (良好)	個人情報の取扱いについては、協定書に基づき適切に行なわれている。
	管理記録	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	管理記録について適切に整備・保管している	B (良好)	管理記録については適切に整備・保管されている。
	連絡体制	事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	市へ報告すべき事項については、連絡・調整を行ない、報告書等については、速やかに提出している	B (良好)	事業実施上、必要な連絡事項は、口頭及び文書で行われている。また、定期的な協議を実施。
	緊急時対応	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	緊急時の連絡体制を確保するとともに、マニュアルを整備し、対応している	B (良好)	緊急時の連絡体制を確保するとともに、マニュアルを整備し、訓練も行っている
	(I 総括)	業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B(良好)		B(良好)

# 指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項	
II 内容・水準	施設管理	事業計画書、日報	B (良好)	定められた開館日、開館時間を遵守している。また、事故防止・安全確保のためのマニュアルを整備し、職員へ周知徹底している。	B (良好)	定められた開館日、開館時間を遵守している。また、事故防止・安全確保のためのマニュアルを整備し、職員へ周知徹底している。	
	利用状況	事業計画書、事業報告書	B (良好)	当初の目標数値を上回った	A (優良)	利用者数、稼働率共に前年度及び目標数を上回った	
	利用者対応	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	施設管理運営マニュアルに基づき、利用者対応等適切に行なっている	B (良好)	施設管理運営マニュアルに基づき、利用者対応等適切に行なわれている。	
	事業運営	事業計画書に則り、事業を計画どおり実施したか。 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	B (良好)	概ね計画どおり実施している	B (良好)	計画どおり実施されている。
	維持管理	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	施設・設備の維持管理を行なっている。また利用者から新たな要望等があれば応じられるよう努力している	B (良好)	施設・設備の維持管理を適切に行なうとともに、快適な環境づくりのために、職員が工夫している。	
	情報提供	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	パンフレットによる案内や事業団ホームページにより情報発信している	B (良好)	施設のパンフレットによる案内や事業団ホームページのリニューアルにより情報発信している	
	環境配慮	関係書類、実地調査	B (良好)	省エネ等職員一丸となって取り組んでいる	B (良好)	電気使用料について、デマンド監視システム導入を行った。	
	意見・要望・苦情	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	センターに意見箱を設置し、利用者からの意見を集約している	B (良好)	苦情等に関しては、担当者を置き、懇意な対応がなされている。	
	利用者アンケート	事業計画書、アンケート、実地調査	C (課題含)	利用者アンケート後の分析まで行ったがサービスまで反映できず。	C (課題含)	利用者アンケート後の分析まで行ったがサービスに活かされていない。	
	《II総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目／当施設9項目】		B (良好)		B (良好)		
III 収支等	経理事務	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B (良好)	つり銭管理、利用料徴収等適切に管理している。経理執行状況については、各区分に分け管理を行なっている	B (良好)	つり銭管理、利用料徴収等適切に管理されている。経理執行状況についても、しっかりと管理されている。	
	収支状況	事業計画書、事業報告書	B (良好)	高い稼働率を維持しており、収支も安定している	A (優良)	収支差額 2,565,181	
	経費節減の取組	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	B (良好)	特に光熱水費（電気料）削減に向け、新電力の導入について検討を行なっている	B (良好)	電気使用料の削減など積極的に取り組んでいる	
	《III総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】		B (良好)		B (良好)		
IV その他	その他	実地調査	B (良好)	地域自治会のサロン等に出向き、デイサービスで実施している体操を実演・指導することで地域の方々の健康増進に寄与している	B (良好)	地域自治会のサロン等に出向き、地域の方々の健康増進に寄与している	
	《IV総括》 その他に関する評価【標準1項目／当施設1項目】		B (良好)		B (良好)		

特記事項等 (課題・成果)	【指定管理者】 平成30年度実績は、全てにおいて当初目標数値を上回ることができた。しかし、昨年度は稼働率が大幅に減となる（インフルエンザ、入院、死去）など、収支状況の浮き沈みが激しい。今後、安定的な運営を行なっていくためには利用者の獲得に向けた営業活動はもちろんのこと、地域とのつながりが必要となり、引き続き地域サロンへの訪問を実施していきたい。
	【施設所管課】 昨年、稼働率がかなり減となった所であるが、本年度かなりの努力をしていただき、稼働率を持ち直している。近隣にはない通常規模のデイサービスということもあり、より利用者に寄り添ったケアができるように、努力していただきたい。

\*評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

